

平成25年度 中国地方整備局  
コンプライアンス・アドバイザー委員会（第1回）議事概要について

標記の委員会について、以下のとおり開催されましたのでお知らせします。

1. 開催日時 平成25年7月25日（木） 13：30～15：43
2. 開催場所 広島合同庁舎2号館 7階 共用第5会議室
3. 出席委員 委員長 倉田 治 弁護士  
委員 磯村 定夫 (社)中国地域ニュービジネス協議会  
常任顧問  
委員 岩崎 宇多子 税理士  
委員 金谷 明彦 中国新聞社論説委員

4. 議事概要

(1) 委員長の選出及び委員長代理の指名

委員会開催にあたり、互選により委員長に倉田委員が選任され、委員長が岩崎委員を委員長代理に指名しました。

(2) 「発注者綱紀保持マニュアルの改正（案）」についての審議

次のとおり、各委員から意見等が出されました。

- ・ 「発注者綱紀保持マニュアルの改正（案）」については、おおむね妥当である。
- ・ マニュアルで手順を定めると、それに引っ張られたり、マニュアルさえ守っていれば良いと考えがちになる。また、本マニュアルは細部まで書き込まれているため、これをすべて守ろうとすると職員が萎縮してしまうことが懸念される。そのため、例えば、重要なところを平易にまとめた冊子等を職員に配布すると良いと思う。
- ・ 本マニュアルが職員向けの内部的なものであることを考えると、マニュアルまで外部に公表する必要があるのか疑問である。
- ・ 情報公開自体は良いことだが、外部に対しては、発注者綱紀保持規程を公表すれば良いのであり、本マニュアルを公表するのであれば、マニュアルの内容について再検討が必要だと思う。
- ・ 本マニュアルの解説の内容については、特に問題ないと思うが、Q&Aは職員向けの内容であり、外部に公表すべきものではない。

(3) 「平成24年度中国地方整備局コンプライアンス報告書」について審議

次のとおり、各委員から意見等が出されました。

- 平成24年度のコンプライアンスの取り組みについては、非常に熱心に取り組まれており評価できる。
- コンプライアンス・ミーティングについては、繰り返し行うことが大事であるので、マンネリ化しないように工夫してほしい。また、職員がやらされ意識を持つことなく、職員自身はその気になって考えることが大事なので、そのやり方を工夫してほしい。さらに、工夫によって参加率を上げる方法もあると思うので、もう少し考えてみてほしい。
- コンプライアンスの取り組みについて、今後とも緊張感を持続できるようなものとしてもらいたい。
- 職員が、通報することに関してマイナスイメージを持たないようなメッセージの発信に引き続き努めてもらいたい。

(4) 提言

本日の委員会で出された意見を踏まえて、「発注者綱紀保持マニュアル」の外部への公表の見直しを検討されるとともに、コンプライアンス推進計画に基づく取り組みをさらに充実したものとしてください。